
清酒の価格及びラベル調査結果

平成15年5月

独立行政法人酒類総合研究所

酒類情報室

目次

I	調査の目的と手法	1
II	価格調査結果	
1	価格調査結果のまとめ	2
2	価格調査結果	
(1)	価格データ	4
(2)	製法品質表示区分別の平均価格	4
(3)	普通酒の価格	5
(4)	本醸造酒の価格	8
(5)	純米酒の価格	10
(6)	吟醸酒の価格	12
(7)	価格の上位5位	15
(8)	バーコード	16
III	ラベル調査結果	
1	ラベル調査結果のまとめ	17
2	ラベル調査結果	
(1)	ラベルデータ	20
(2)	ラベル表示	20
イ	集計項目	20
ロ	普通酒	21
ハ	本醸造酒	23
ニ	純米酒	26
ホ	吟醸酒	29
(3)	製造時期の表記	32
(4)	胴貼における大書文字	32

I 調査の目的と手法

1 目的

全国の清酒の価格及びラベルについての実態の把握及び結果の提供 並びに 21 世紀初頭の清酒ラベルの収集及び保存

2 調査手法

平成 13 年 12 月に、全国の清酒製造場に対し、当該清酒製造場の特定名称の清酒以外の清酒、本醸造酒、純米酒及び吟醸酒の 4 タイプの清酒の中からそれぞれ代表的な製品 1 つの希望小売価格(消費税別)を調査し、またそのラベルの提供を依頼した。なお、各タイプごとの製品の選択は製造場に一任した。調査協力製造場は 1177 場であった。

3 集計

価格については平均価格、度数分布等を集計した。ラベルについては表示されている事項を集計した。

4 語句の定義

調査結果の中で使用した語句は次のとおり定義した。

- 「普通酒」…特定名称の清酒以外の清酒を指す。
- 「本醸造酒」…特別本醸造酒を含むすべての本醸造酒を指す。なお、特別本醸造酒以外の本醸造酒を区別する場合は便宜上、「普通本醸造酒」とした。
- 「純米酒」…特別純米酒を含むすべての純米酒を指す。なお、特別純米酒以外の純米酒を区別する場合は便宜上、「普通純米酒」とした。
- 「吟醸酒」…純米吟醸酒、大吟醸酒及び純米大吟醸酒を含むすべての吟醸酒を指す。なお、純米吟醸酒、大吟醸酒及び純米大吟醸酒以外の吟醸酒を区別する場合は便宜上、「普通吟醸酒」とした。
- 「価格」…希望小売価格(消費税別)
- 「SD」…標準偏差(平均値からの偏りの度合)
- 「CV」…変動係数(データのバラツキの度合)

Ⅱ 価格調査結果

1 価格調査結果のまとめ

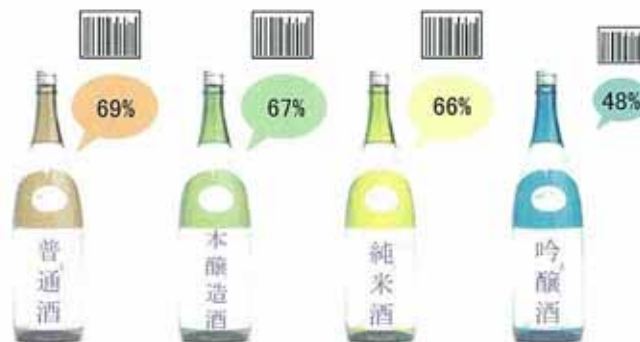
平均価格

1,800ml びん製品(その他の容量は除く)の平均価格は、吟醸酒>純米酒>本醸造酒>普通酒の順に高い。



バーコード

1,800ml びん製品(その他の容量は除く)のバーコードは、普通酒、本醸造酒、純米酒は約 3 分の 2 に、吟醸酒は約半分に記載されている。



考察

● 清酒の価格は、一般に、製造場における製造コスト、販売戦略などで決まってくる。製造コストは、原料米の価格、精米歩合、醸造アルコールの使用量などの原材料費と吟醸酒のようにいわゆる吟醸造りをするかどうか、仕込みの大きさなどの製造方法の違いによる生産性によって異なってくる。今回の調査で、吟醸酒＞純米酒＞本醸造酒＞普通酒の順に平均価格が高くなっていることは、このような理由からと考えられる。また、同タイプの清酒における価格差も、原材料費や生産性などの差によるものと説明出来る。

しかし、現在のラベルの表示内容からは価格の違いが明確には消費者に伝わりにくいようである。特に、1,801 円～1,850 円の価格帯では、大きく分けて、①普通酒の「上撰」、②本醸造酒表示のもの、③本醸造と「上撰」を併用して表示したものの3種類の清酒が販売されており、消費者にとって価格と品質との関係が必ずしも明確ではないように思われる。

● 今回の価格データは、全ての清酒の商品を調査したものではないものの、全国的な清酒製造場の希望小売価格の貴重な統計資料である。各製造場において、清酒の価格を決定する時の参考になるものと考えている。



2 価格調査結果

(1) 価格データ

収集した価格データは次のとおりである。

表Ⅱ-1 価格データの内訳

容量(ml)	普通酒		本醸造酒		純米酒		吟醸酒	
	データ数	割合(%)	データ数	割合(%)	データ数	割合(%)	データ数	割合(%)
720	19	1.9	80	7.9	99	11.0	343	33.9
1,800	974	96.4	915	90.6	780	86.7	657	64.8
その他	17	1.7	15	1.5	21	2.3	13	1.3
合計	1010	100.0	1010	100.0	900	100.0	1013	100.0

(2) 製法品質表示区分別の平均価格

1,800ml びん製品の平均価格は、吟醸酒＞純米酒＞本醸造酒＞普通酒の順に高い。価格のバラツキは、普通酒、本醸造酒及び純米酒に比べ、吟醸酒で大きい。

720 ml びん製品は、1,800ml びん製品に比べ、本醸造酒及び純米酒の価格のバラツキが大きい。

表Ⅱ-2 製法品質表示区分別の平均価格

(1,800ml びん製品)

1,800ml	普通酒	本醸造酒	純米酒	吟醸酒			
				普通吟醸酒	純米吟醸酒	大吟醸酒	純米大吟醸酒
データ数	974	915	780	162	131	301	63
平均価格(円)	1,742.5	1,930.4	2,239.5	2,924.3	2,923.5	5,447.1	4,939.4
最大価格(円)	3,686	3,000	5,000	5,830	7,000	12,000	11,650
最小価格(円)	695	1,070	1,480	1,800	1,942	2,233	2,427
SD	174.0	197.3	300.0	748.2	752.2	1683.0	2020.7
CV(%)	10.0	10.2	13.4	25.6	25.7	30.9	40.9

(720ml びん製品)

720ml	普通酒	本醸造酒	純米酒	吟醸酒			
				普通吟醸酒	純米吟醸酒	大吟醸酒	純米大吟醸酒
データ数	データ数が 少なく省略	80	99	57	42	210	34
平均価格(円)		1,144.0	1,290.0	1,764.6	1,587.1	2,866.0	3,045.7
最大価格(円)		2,913	2,800	3,500	3,000	5,500	6,000
最小価格(円)		777	685	971	950	1,068	1,429
SD		339.3	287.2	540.4	399.0	673.7	1045.9
CV(%)		29.7	22.3	30.6	25.1	23.5	34.3

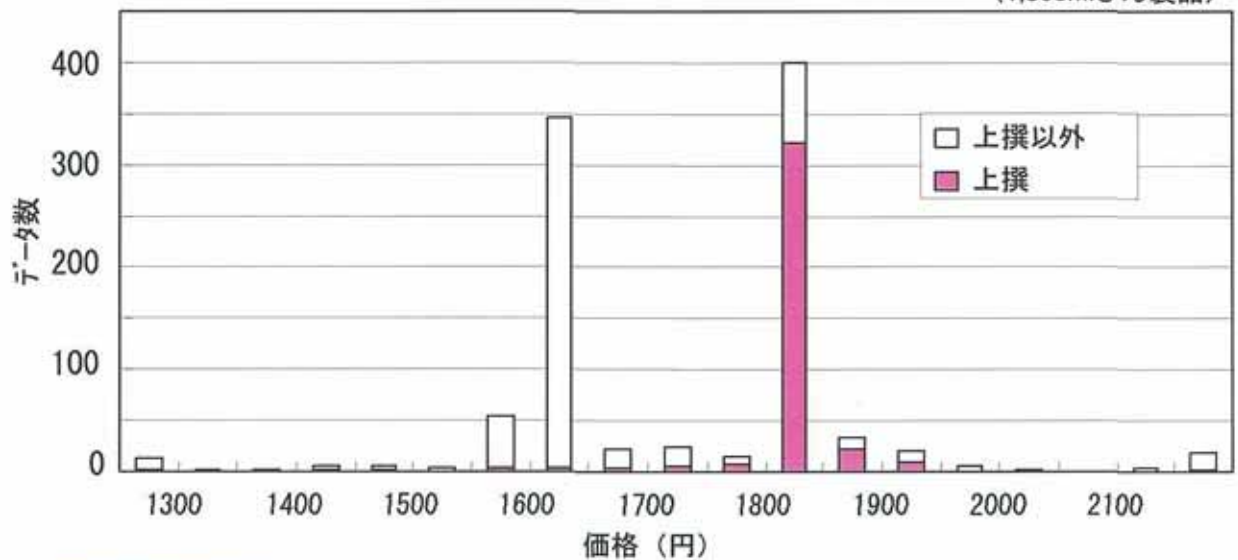
(3) 普通酒の価格

価格の分布

普通酒の 1,800ml びん製品の価格は、1,601 円～1,650 円と 1,801 円～1,850 円の2つの価格帯に集中している。1,801 円～1,850 円の価格帯では、80.5%に「上撰」の表示がされているのに対し、1,601 円～1,650 円の価格帯では、わずか 0.9%しか表示がされていない。これは、かつての級別制度における旧1級酒及び旧2級酒に相当するものと考えられる。

図Ⅱ-1 普通酒の価格の分布

(1,800mlびん製品)



価格と品質表示

普通酒の品質に関する表示は、1,750 円以下では、「表示なし」が最も多いが、それ以外にも「上撰」、「佳撰」、「精撰」など様々な表示がされている。1,751 円以上では、「上撰」の表示が最も多い。

表Ⅱ-3 普通酒の品質表示

(1,800mlびん製品)

表示の有無	1,750 円以下	1,751 円以上	合計
なし	318 点	116 点	434 点
あり	159 点 (内訳) 上撰: 20 金撰: 2 佳撰: 34 秀撰: 8 精撰: 38 特撰: 1 金印: 21 その他: 35(良撰、別撰、 美撰、粹撰、銀撰、県推奨、 品質委員会など)	381 点 (内訳) 上撰: 361 金撰: 5 佳撰: 0 秀撰: 0 精撰: 0 特撰: 8 金印: 1 その他: 6(真撰、上等、特醸 など)	540 点
合計	477 点	497 点	974 点

地域別(国税局単位)の価格

「上撰」の価格は、東日本の地域の方が西日本の地域よりやや高い傾向にある。一方、「上撰以外」の価格は、西日本が東日本よりやや高い傾向にある。

なお、西日本で「上撰以外」の価格が高いのは、上撰表示がないものの中に「上撰」クラスの価格のものが多いためである。

表Ⅱ-4 普通酒の地域別価格

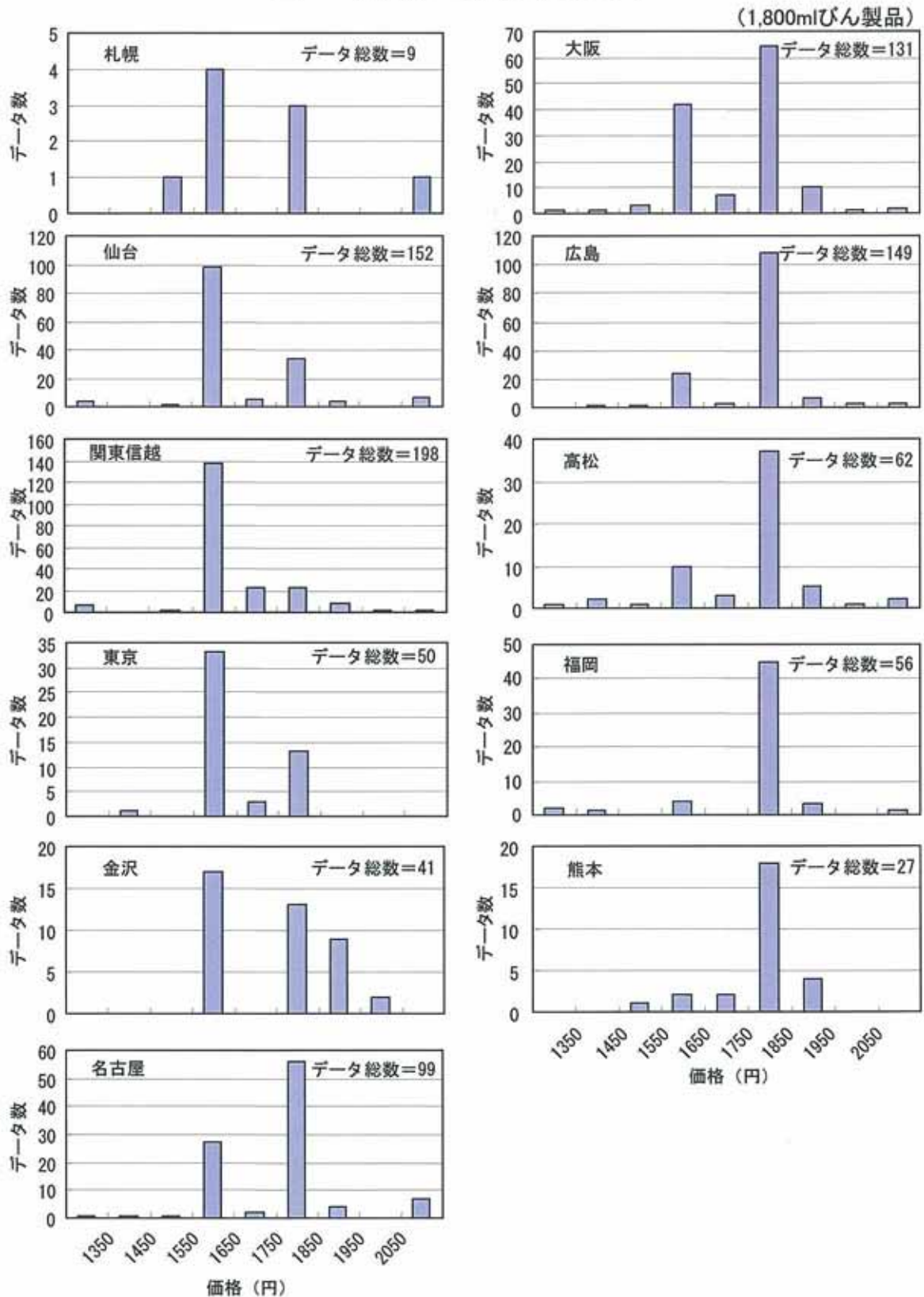
(1,800mlびん製品)

国税局	上撰			上撰以外			全データ数	上撰割合 (%)
	データ数	平均価格(円)	SD	データ数	平均価格(円)	SD		
札幌	2	1,835.0	-	7	1,698.4	217.1	9	22.2
仙台	29	1,858.7	111.0	123	1,656.3	169.8	152	19.1
関東信越	19	1,842.3	48.3	179	1,649.3	130.9	198	9.6
東京	10	1,836.5	10.6	40	1,627.0	73.9	50	20.0
金沢	20	1,858.5	26.9	21	1,682.4	126.0	41	48.8
名古屋	46	1,836.4	8.7	53	1,780.2	390.9	99	46.5
大阪	62	1,803.8	175.4	69	1,684.7	160.2	131	47.3
広島	100	1,826.7	63.0	49	1,758.3	177.7	149	67.1
高松	37	1,805.7	101.5	25	1,764.2	241.8	62	59.7
福岡	40	1,804.1	114.8	16	1,806.0	260.3	56	71.4
熊本	16	1,841.1	51.6	11	1,759.5	123.9	27	59.3
全体	381	1,829.1	71.8	593	1,686.9	196.3	974	39.1

地域別(国税局単位)の価格の分布

ほとんどの地域において、1,551円～1,650円の価格帯または1,751円～1,850円の価格帯のものが多く。また、金沢局では1,851円～1,950円の価格帯のものも多い。

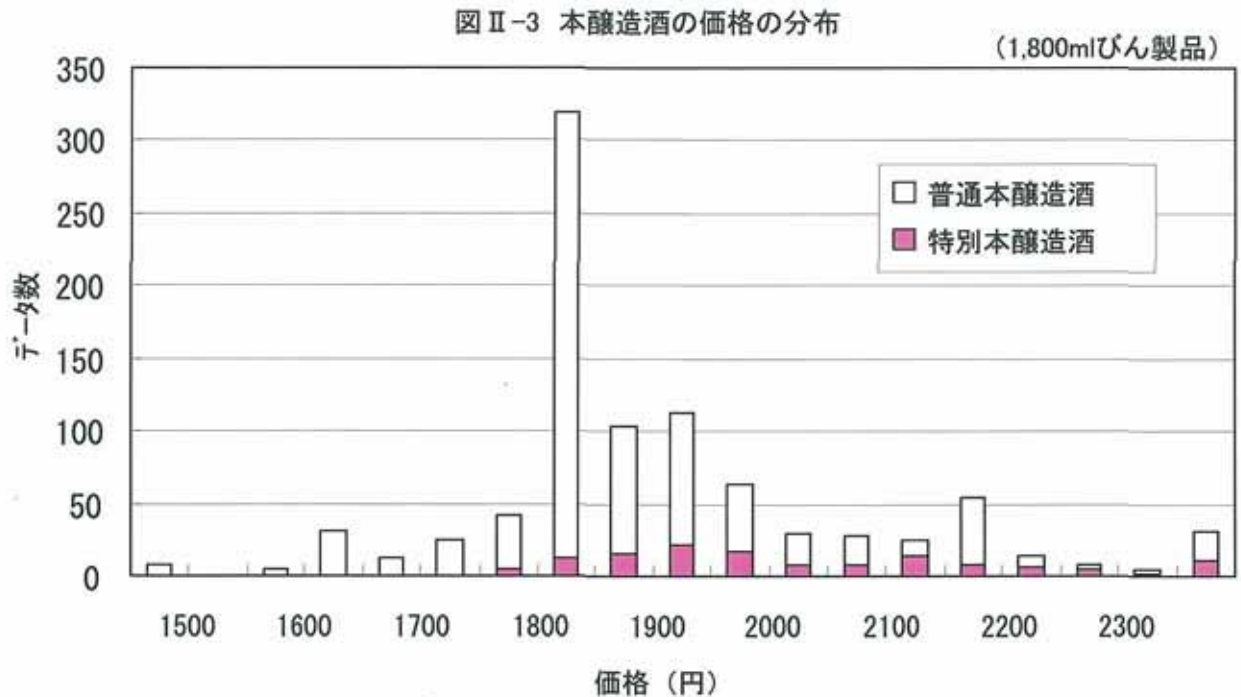
図Ⅱ-2 普通酒の地域別の価格の分布



(4) 本醸造酒の価格

価格の分布

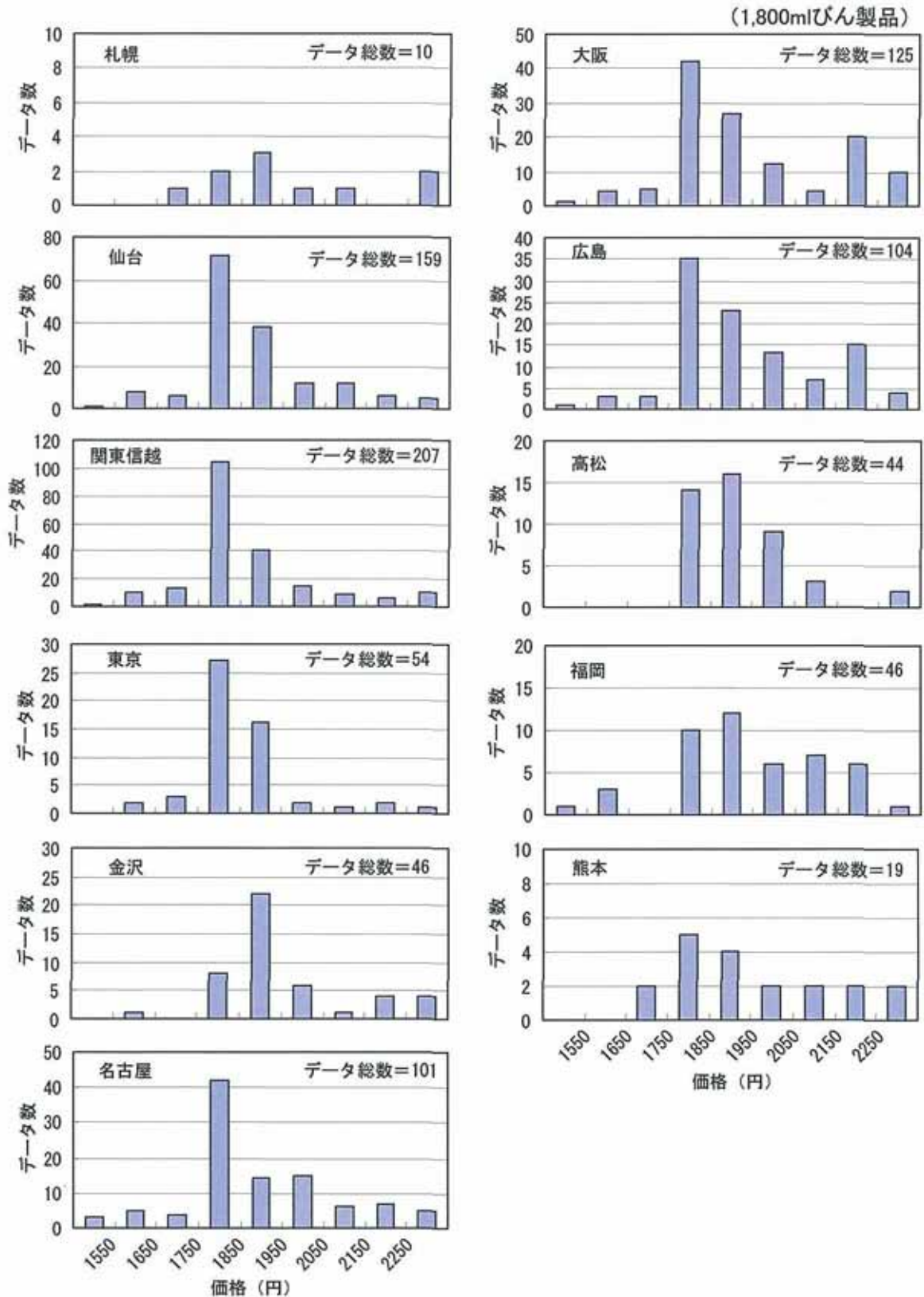
- ① 1,800ml びん製品の本醸造酒の価格は、1,801 円～1,850 円の価格帯に集中し、そこから 2,000 円にかけてのものが多い。
- ② 1,801 円～1,850 円の価格帯は普通酒の「上撰」クラスと重なっている。
- ③ 本醸造酒のうち特別本醸造酒は、全体の 14.2%を占め、1,751 円以上の各価格帯に分布している。
- ④ 本醸造酒は、普通酒に比べ価格幅が大きい。
- ⑤ 1,801 円～1,850 円の価格帯にある 319 点のうち 113 点(35.4%)には「上撰」、12 点には「特撰(超特撰を含む)」の表示がされている。



地域別(国税局単位)の価格の分布

本醸造酒の価格は、西日本の地域の方が東日本の地域よりやや高い傾向にある。

図 II-4 本醸造酒の地域別の価格の分布

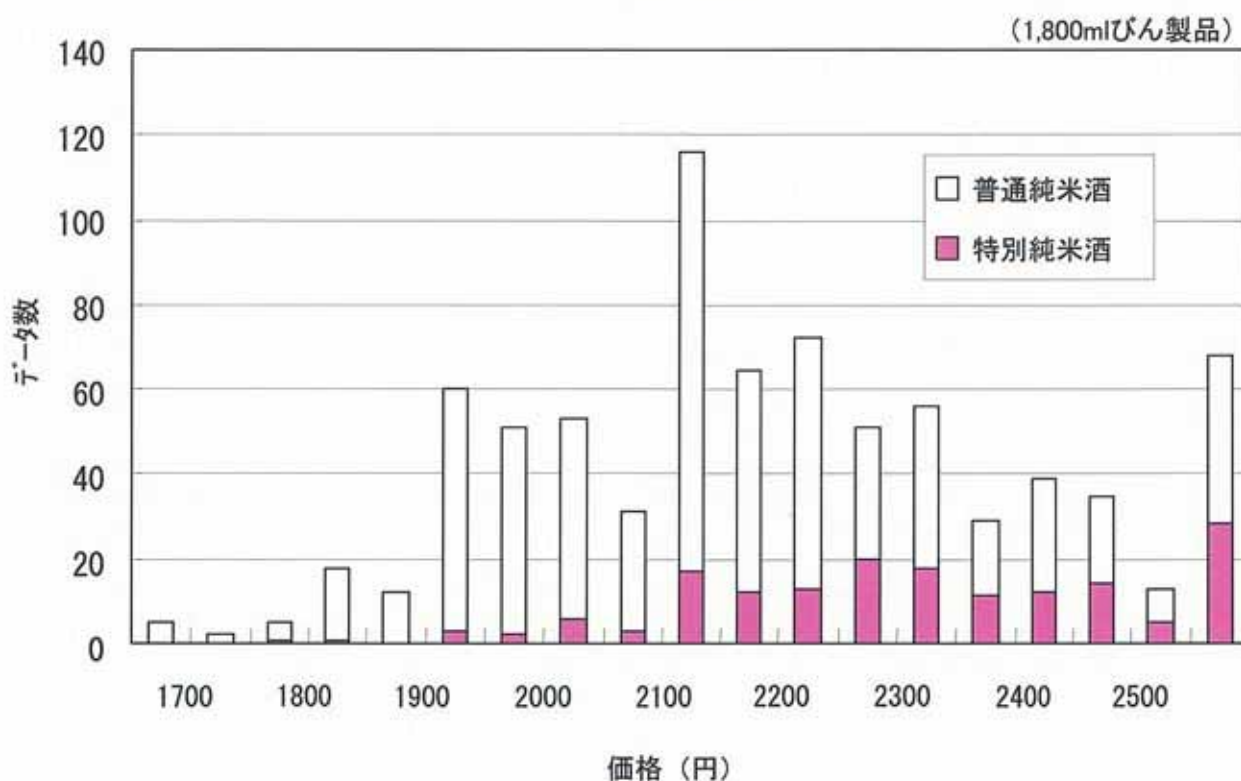


(5) 純米酒の価格

価格の分布

- ① 純米酒の 1,800ml びん製品の価格は、主に 1,901 円～2,500 円の価格帯に広く分布している。
- ② 普通酒とは価格がほとんど重なっていない。
- ③ 特別純米酒は、2,300 円を超える価格帯の純米酒のうち 30%～40%を占める。
- ④ 「上撰」、「特撰」などの品質表示があるものは、純米酒 780 点のうちわずか 36 点 (4.6%)と少ない。

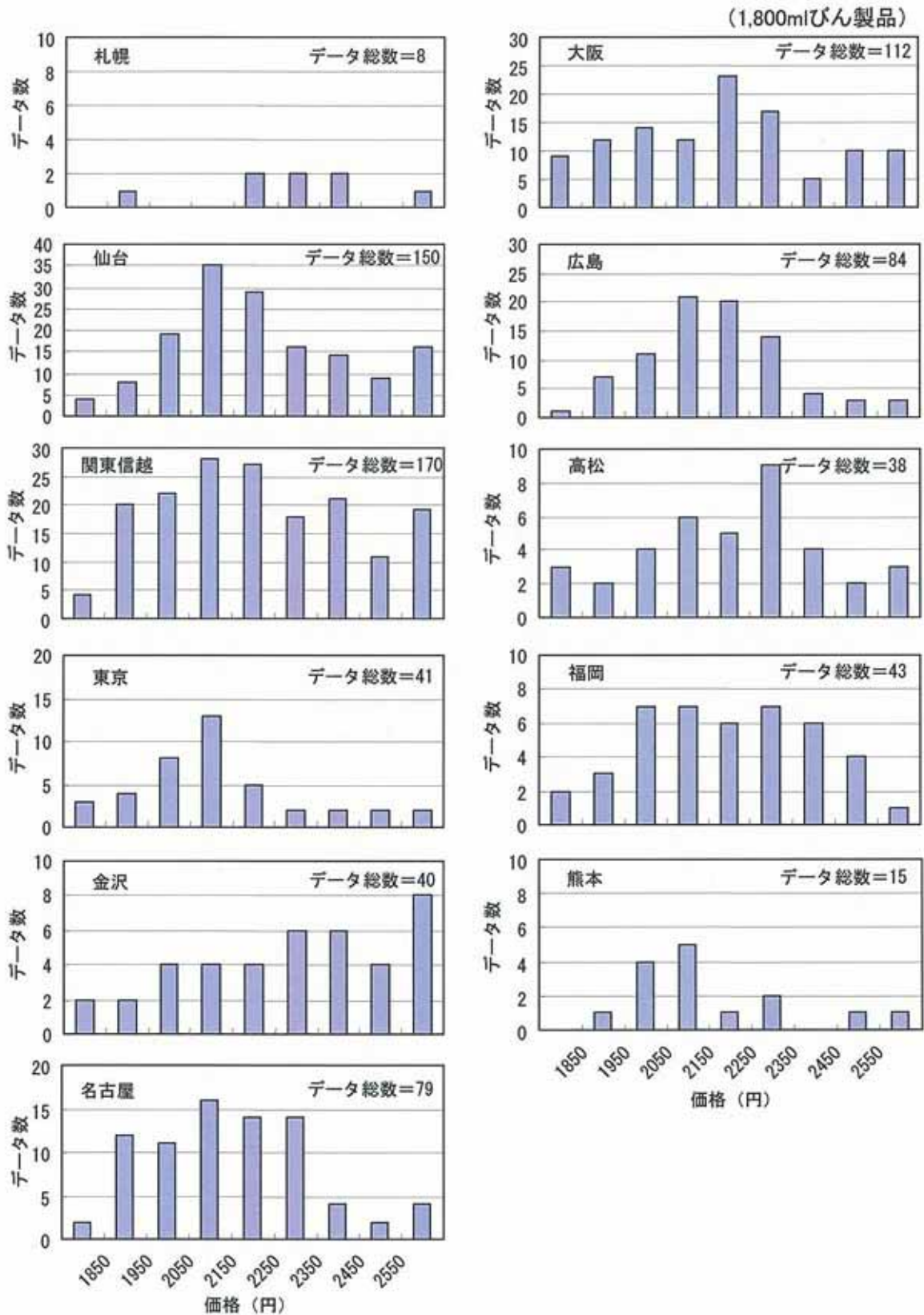
図 II-5 純米酒の価格の分布



地域別(国税局単位)の価格の分布

純米酒の価格は、全地域で広い価格帯に分布している。

図Ⅱ-6 純米酒の地域別の価格の分布



(6) 吟醸酒の価格

価格の分布

- ① 普通吟醸酒と純米吟醸酒の 1,800ml びん製品の価格は、2,201 円～3,000 円の価格帯に多く分布し、4,001 円以上のものは少ない。
- ② 普通吟醸酒と純米吟醸酒の価格帯は重なり合い、分布も似ている。
- ③ 大吟醸酒と純米大吟醸酒の 1,800ml びん製品の価格は、4,801 円～5,000 円に大きなピークがあり、全体の 38.6%を占める。それ以外は、価格は広い範囲に分布している。
- ④ 大吟醸酒と純米大吟醸酒の価格帯は重なり合い、分布も似ている。
- ⑤ 普通吟醸酒と純米吟醸酒の主な価格帯は、大吟醸酒と純米大吟醸酒の主な価格帯とは明確に区別されている。

図 II-7 普通吟醸酒及び純米吟醸酒の価格の分布

(1,800mlびん製品)

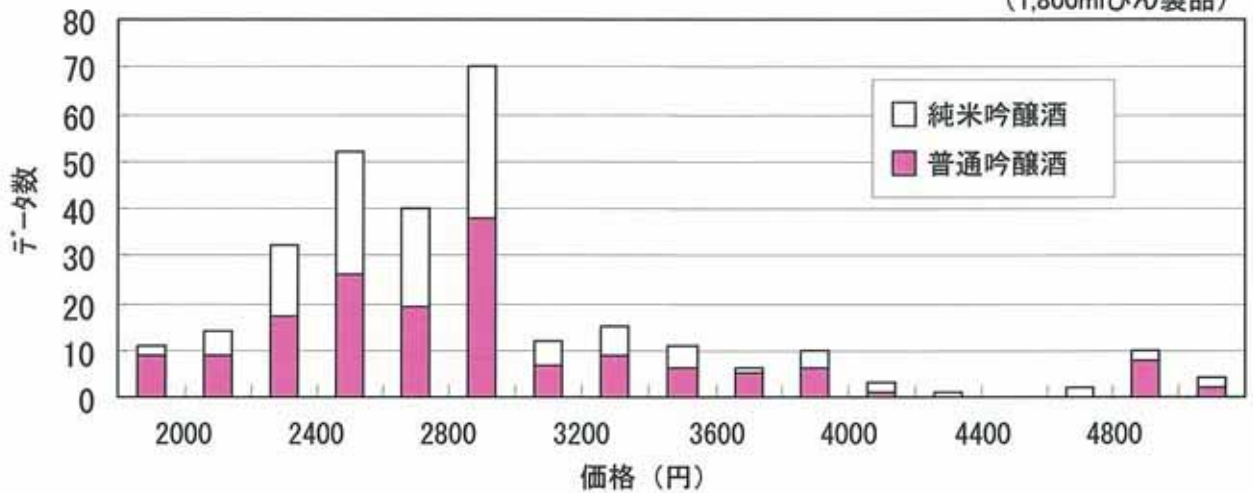
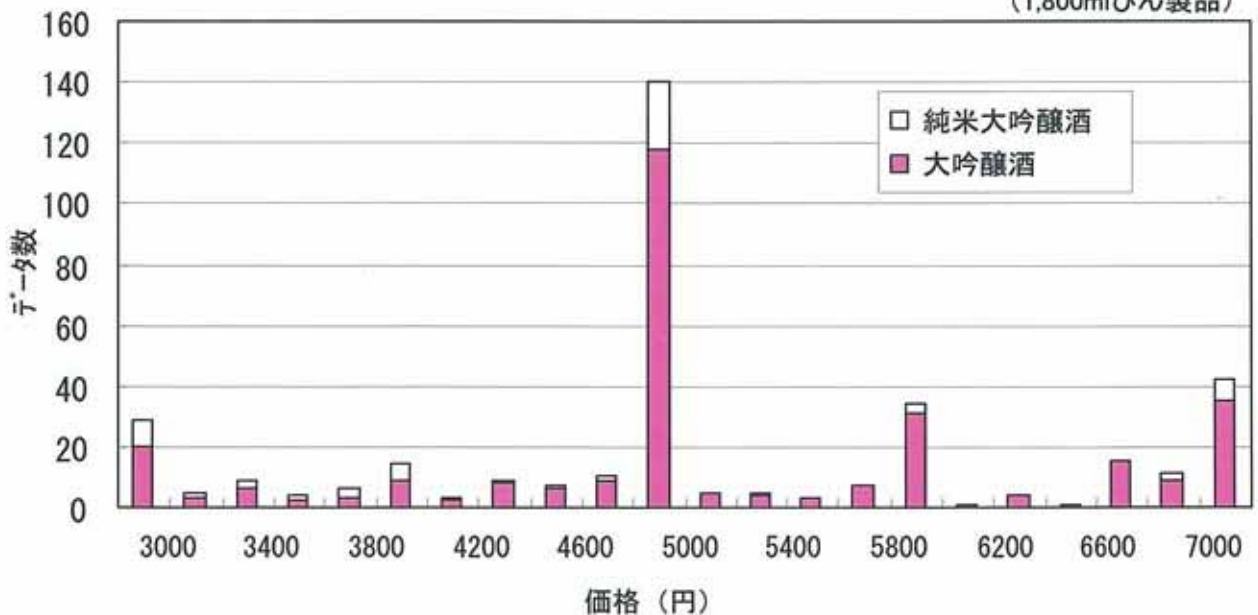


図 II-8 大吟醸酒及び純米大吟醸酒の価格の分布

(1,800mlびん製品)

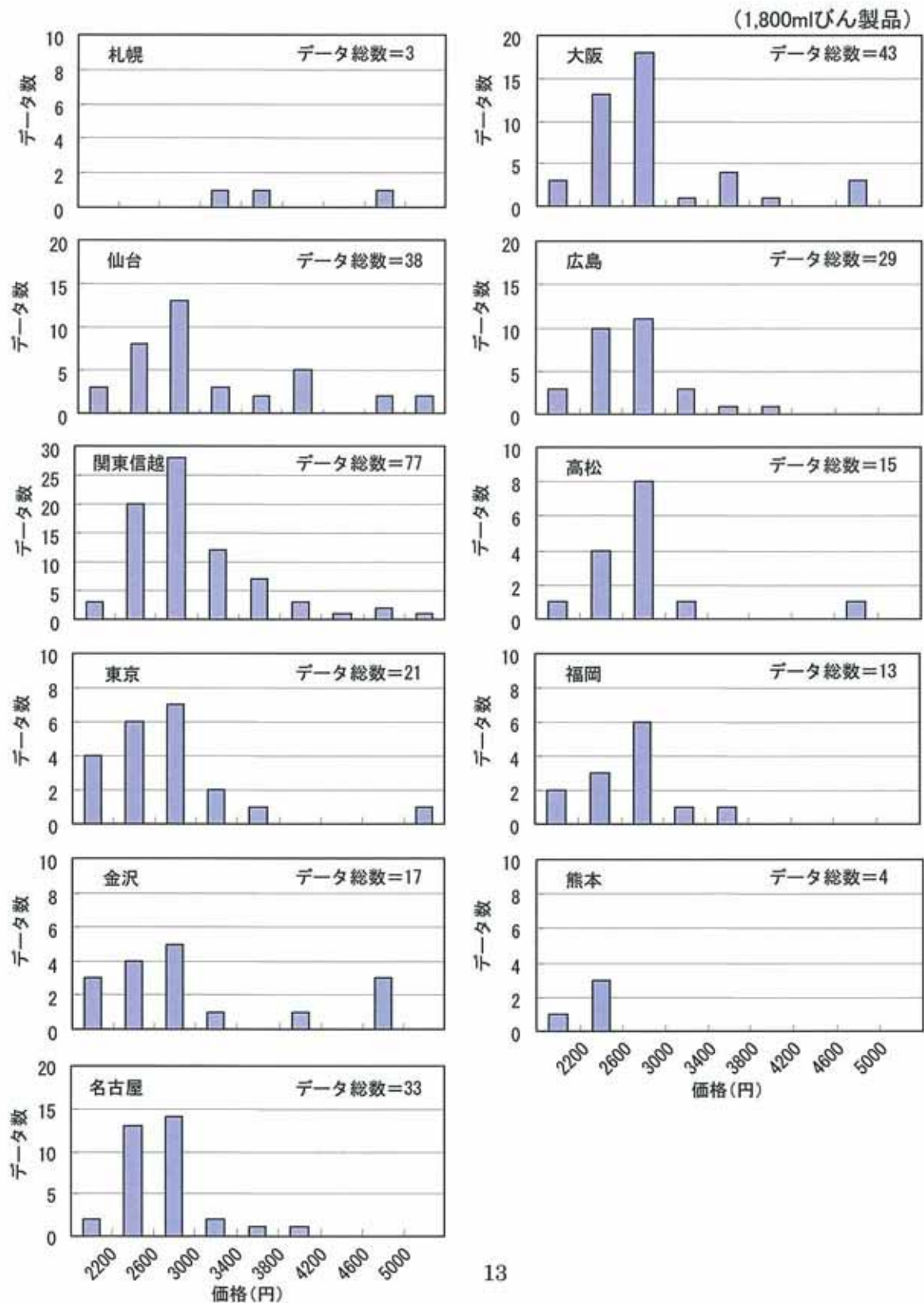


地域別(国税局単位)の価格の分布

価格の分布が似ている普通吟醸酒と純米吟醸酒 並びに 大吟醸酒と純米大吟醸酒の2グループに分けてそれぞれP13とP14に示す。

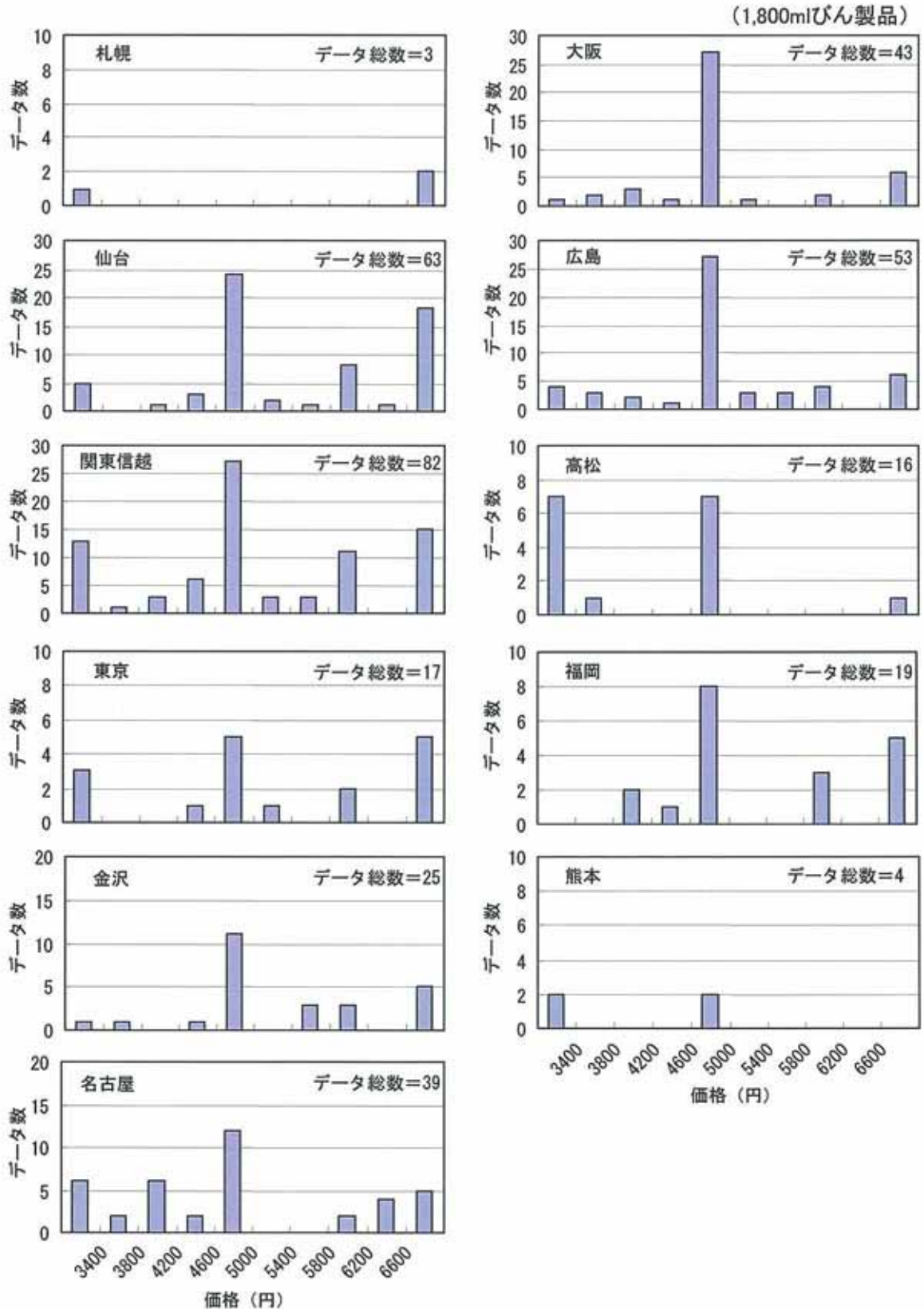
普通吟醸酒及び純米吟醸酒の価格は、ほとんどの地域において2,201円～3,000円の価格帯のものが多。

図Ⅱ-9 普通吟醸酒及び純米吟醸酒の地域別の価格の分布



大吟醸酒及び純米大吟醸酒の価格は、ほとんどの地域において 4,601 円～5,000 円の価格帯のものが最も多い。また、仙台局、関東信越局、東京局及び福岡局では 6,601 円以上の高価格帯のものも多い。

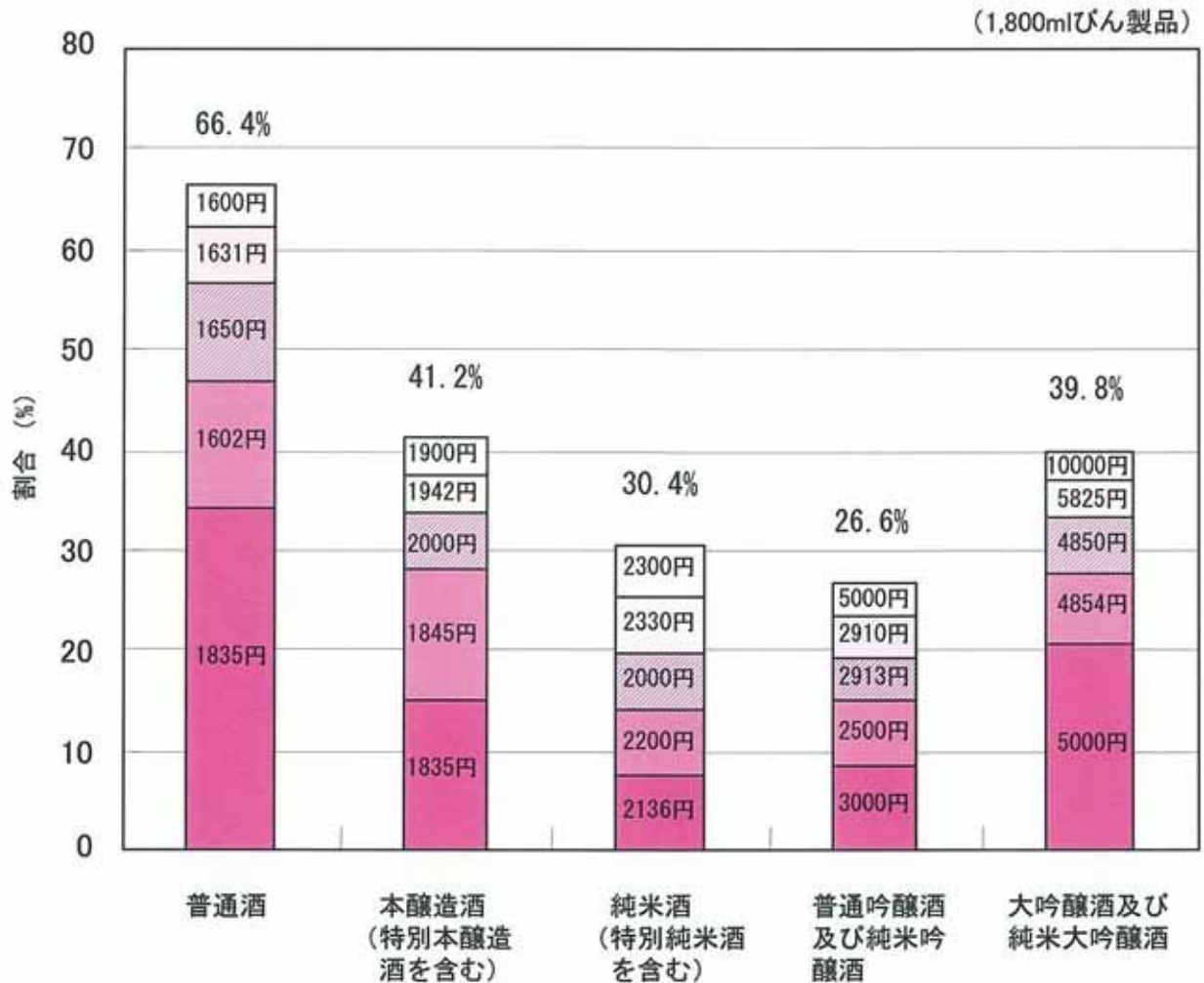
図Ⅱ-10 大吟醸酒及び純米大吟醸酒の地域別の価格の分布



(7) 価格の上位 5 位

- ① 普通酒は、上位 5 位までの割合が 66.4%と最も高く、そのうち 1,835 円が全体の 34.3%を占める。
- ② 普通酒以外の上位 5 位までの割合は、本醸造酒が 41.2%、純米酒が 30.4%、普通吟醸酒・純米吟醸酒が 26.6%、大吟醸酒・純米大吟醸酒が 39.8%である。

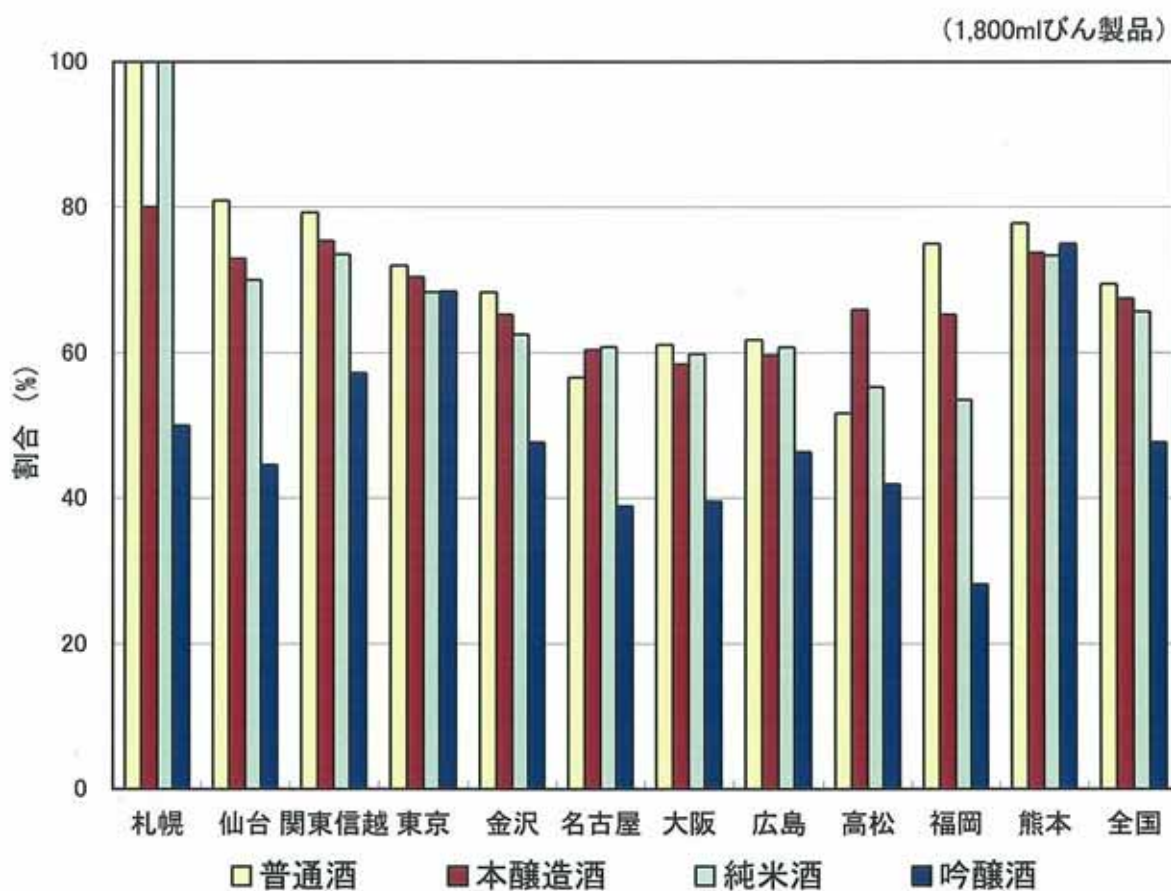
図 II-11 価格の上位5位の占める割合



(8) バーコード

- ① 商品の情報を記録したバーコードは、全国平均で普通酒 69.4%、本醸造酒 67.4%、純米酒 65.6%及び吟醸酒 47.6%に記載されている。
- ② 地域別の記載割合は、札幌、熊本、関東信越の各国税局で高い。
- ③ 記載場所は、普通酒、本醸造酒、純米酒では胴貼が最も多く、それぞれ 91.1%、76.0%及び 63.5%を占める。胴貼以外ではほとんどが裏貼に記載されており、吟醸酒ではその記載割合が 53.0%と最も多い。

図Ⅱ-12 地域別(国税局単位)のバーコード記載割合



注) 沖縄国税事務所は集計から除外

Ⅲ ラベル調査結果

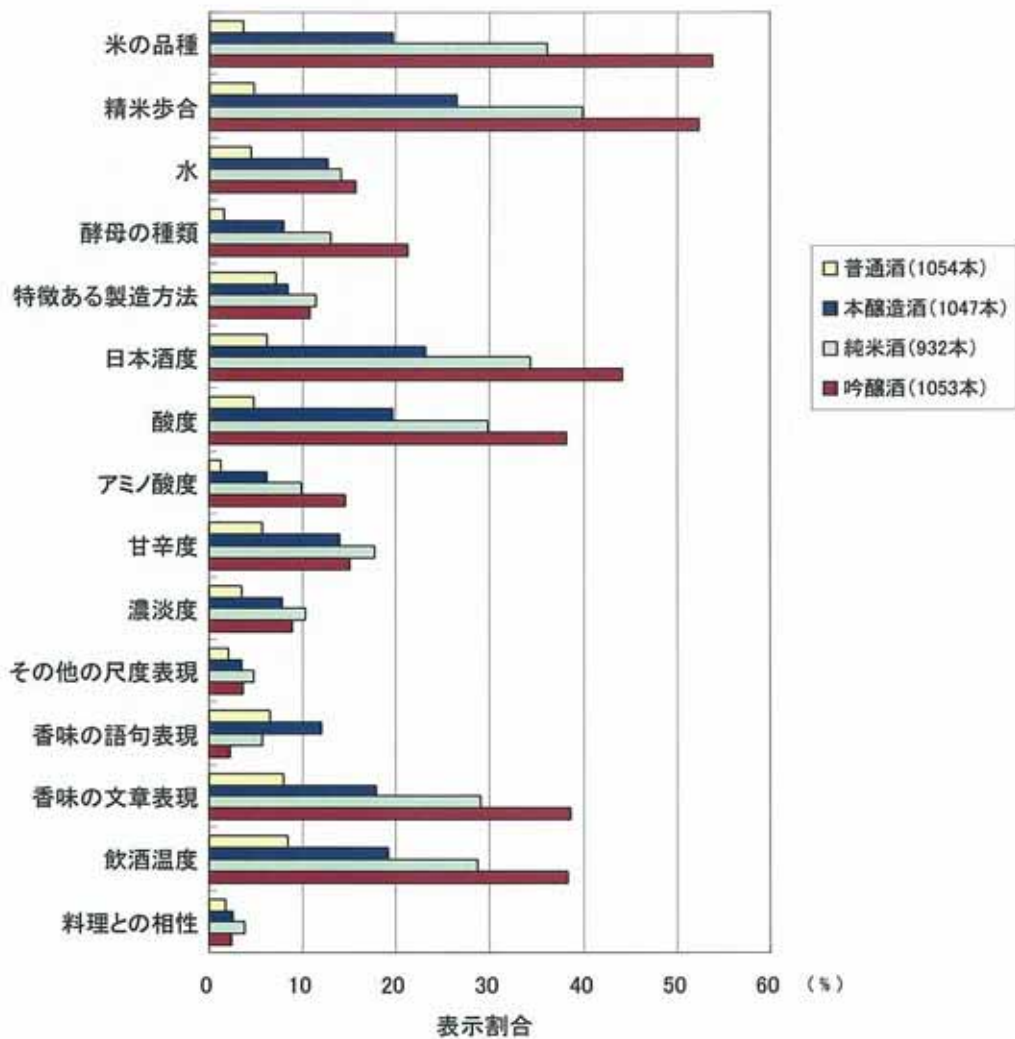
1 ラベル調査結果のまとめ

ラベル表示事項

銘柄や法定表示事項以外の、ラベル表示事項は、

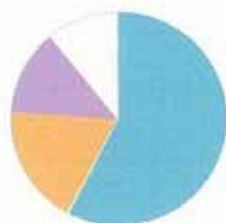
- ① おおむね、吟醸酒＞純米酒＞本醸造酒＞普通酒の順に表示割合が高い。
- ② 表示割合が高いものは、米の品種、精米歩合、日本酒度、酸度、香味の文章表現及び飲酒温度である。
- ③ 表示割合が低いものは、香味のその他の尺度表現と料理との相性である。

ラベル表示事項の表示割合



製造時期の表記方法

製造時期が平成 14 年 1 月 1 日の場合の表記方法



■ 「14.1」	57%
■ 「02.1」	18%
■ 「2002.1」	13%
□ その他	12%

胴貼における大書文字

普通酒と本醸造酒では銘柄を大書したものが多く。純米酒と吟醸酒では①銘柄を大書したものと②純米や吟醸などの特定名称を大書したものととの比率が約3:2になっている。



普通酒

96%



本醸造酒

83%

純米酒



3 : 2

吟醸酒



3 : 2

考察

● 未成年者の飲酒防止などの法定表示事項を除いたラベルの表示事項は、吟醸酒＞純米酒＞本醸造酒＞普通酒の順に表示割合が高い。また、項目別では、米の品種、精米歩合、日本酒度、酸度、香味の文章表現及び飲酒温度の表示割合が高い。特定名称酒で表示割合が高く、普通酒で低いのは、特定名称酒では消費者に伝えやすい情報が豊富に存在し、普通酒ではそれらが少ないためと考えられる。

一方、普通酒は消費者に最もよく愛飲されており、少しでも多くの普通酒に甘辛などの特徴を表示することは消費者利便を図る上で必要なことと思われる。

香味の表現、料理との相性については、米の品種、精米歩合、日本酒度などとは違い客観的に表すことは難しいが、様々な方法(甘辛度、濃淡度、タイプなどその他の尺度表現、語句表現、文章表現など)で表示されている。

今後は

- ① ラベル表示事項の消費者への啓蒙と普及
- ② 消費者が欲しい情報の表示
- ③ わかりやすいラベル表示事項の設定

などが必要と考えられる。

2 ラベル調査結果

(1) ラベルデータ

収集したラベルは次のとおりである。肩貼は普通酒と本醸造酒に多く(各 90.7%、75.0%)、裏貼は吟醸酒と純米酒に多い(各 57.6%、42.9%)。

表 III-1 収集したラベル

	普通酒(1054本)		本醸造酒(1047本)		純米酒(932本)		吟醸酒(1053本)	
	枚数	1054本中の割合(%)	枚数	1047本中の割合(%)	枚数	932本中の割合(%)	枚数	1053本中の割合(%)
胴貼	1054	100.0	1047	100.0	932	100.0	1053	100.0
肩貼	956	90.7	785	75.0	558	59.9	398	37.8
裏貼	114	10.8	317	30.3	400	42.9	607	57.6
証紙	554	52.6	361	34.5	145	15.6	99	9.4
首掛	5	0.5	14	1.3	35	3.8	70	6.6
シール	12	1.1	49	4.7	66	7.1	75	7.1



シールは
上図以外の貼物

(2) ラベル表示

イ 集計項目

ラベル表示事項の集計項目は、以下の5グループ 15 項目(①～⑮)のとおりである。

法定表示事項(原材料名、容量、アルコール分、未成年者の飲酒防止など)は表示が義務付けられているため除いている。

なお、各表示事項を以後、一括して情報という。



注1) ⑤は、生酛、四段掛け、生、長期貯蔵などの表示を集計

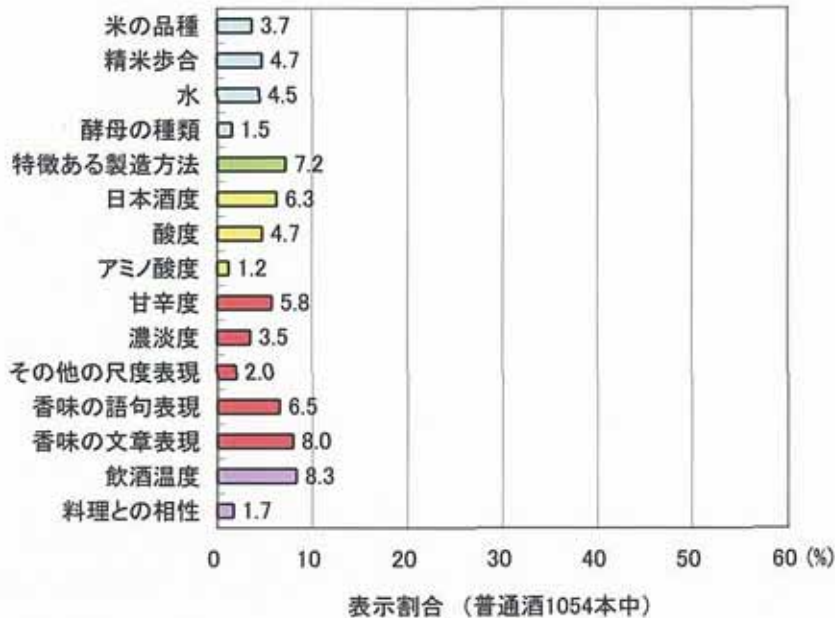
注2) ⑪は、甘辛度、濃淡度以外の尺度表現を、⑫は、胴貼などに表示された単純な語句(芳醇、大辛など)を集計

□ 普通酒

情報の表示割合

普通酒の情報の表示割合は、全ての項目で10%以下である。

図 III-1 普通酒における表示割合



情報の表示位置

情報の多くは主に裏貼に表示されている。

図 III-2 普通酒におけるラベル別表示割合 (普通酒1054本中)



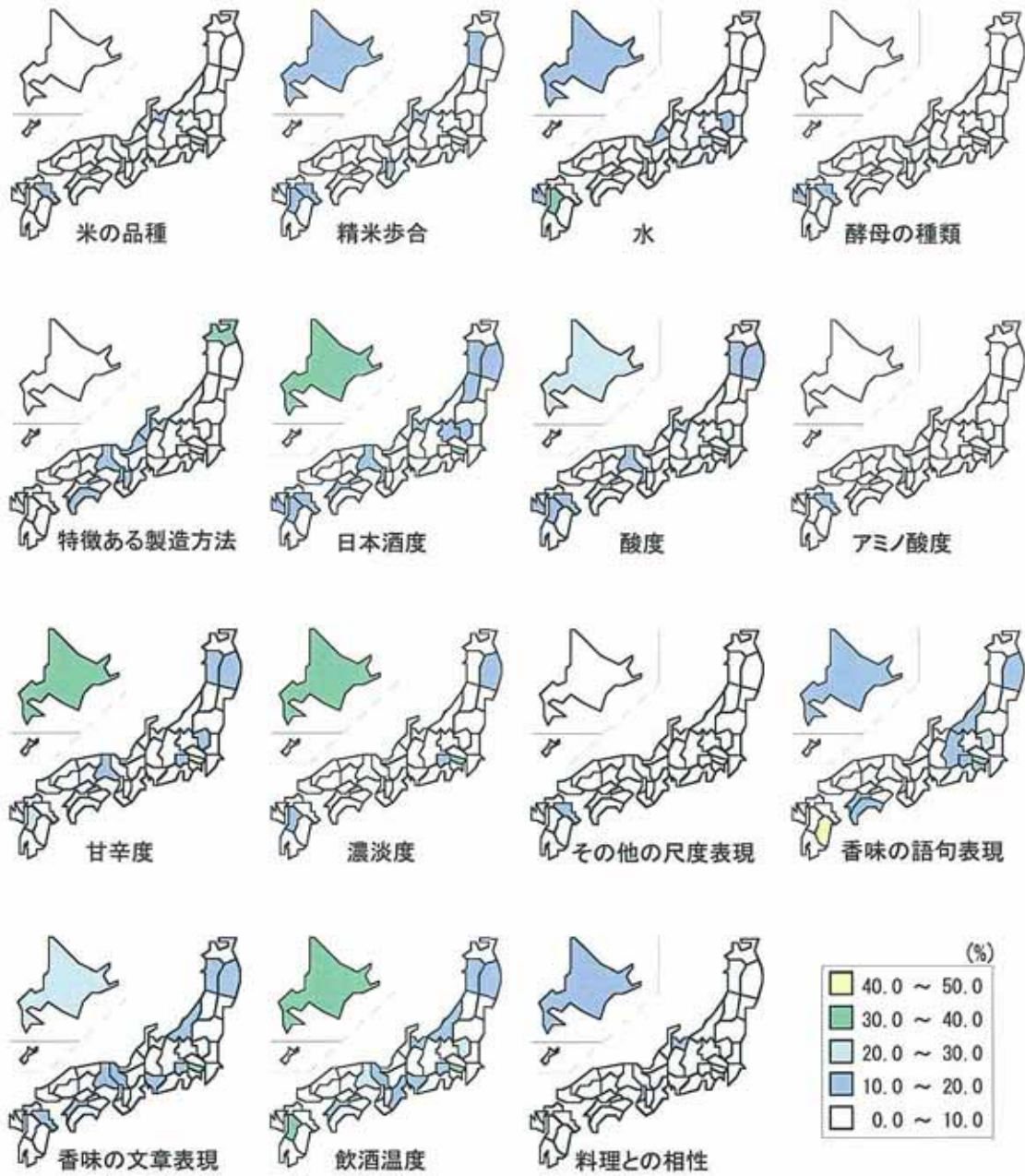
注) 0.5%未満は省略

注) 赤字は、各項目において最も表示割合が高いラベルを示す。

都道府県別にみた情報の表示割合

普通酒の情報の表示割合を5段階に色分けして図示

図 III-3 普通酒における都道府県別表示割合



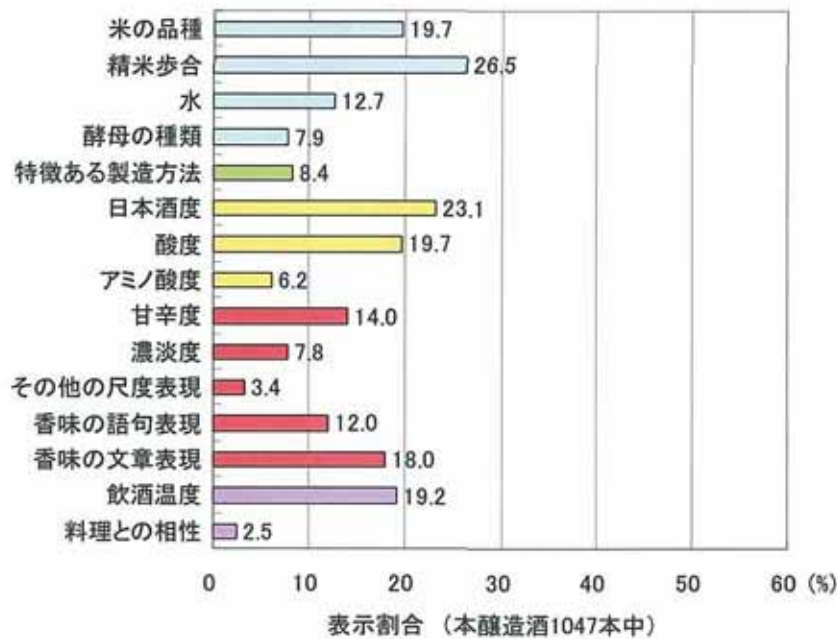
注) 鹿児島県と沖縄県は含まれません。

ハ 本醸造酒

情報の表示割合

本醸造酒の情報は、米の品種、精米歩合、日本酒度、酸度、香味の文章表現及び飲酒温度が約 20%～25%に表示されている。

図 III-4 本醸造酒における表示割合



情報の表示位置

情報の多くは主に裏貼に表示されている。

図 III-5 本醸造酒におけるラベル別表示割合 (本醸造酒1047本中)



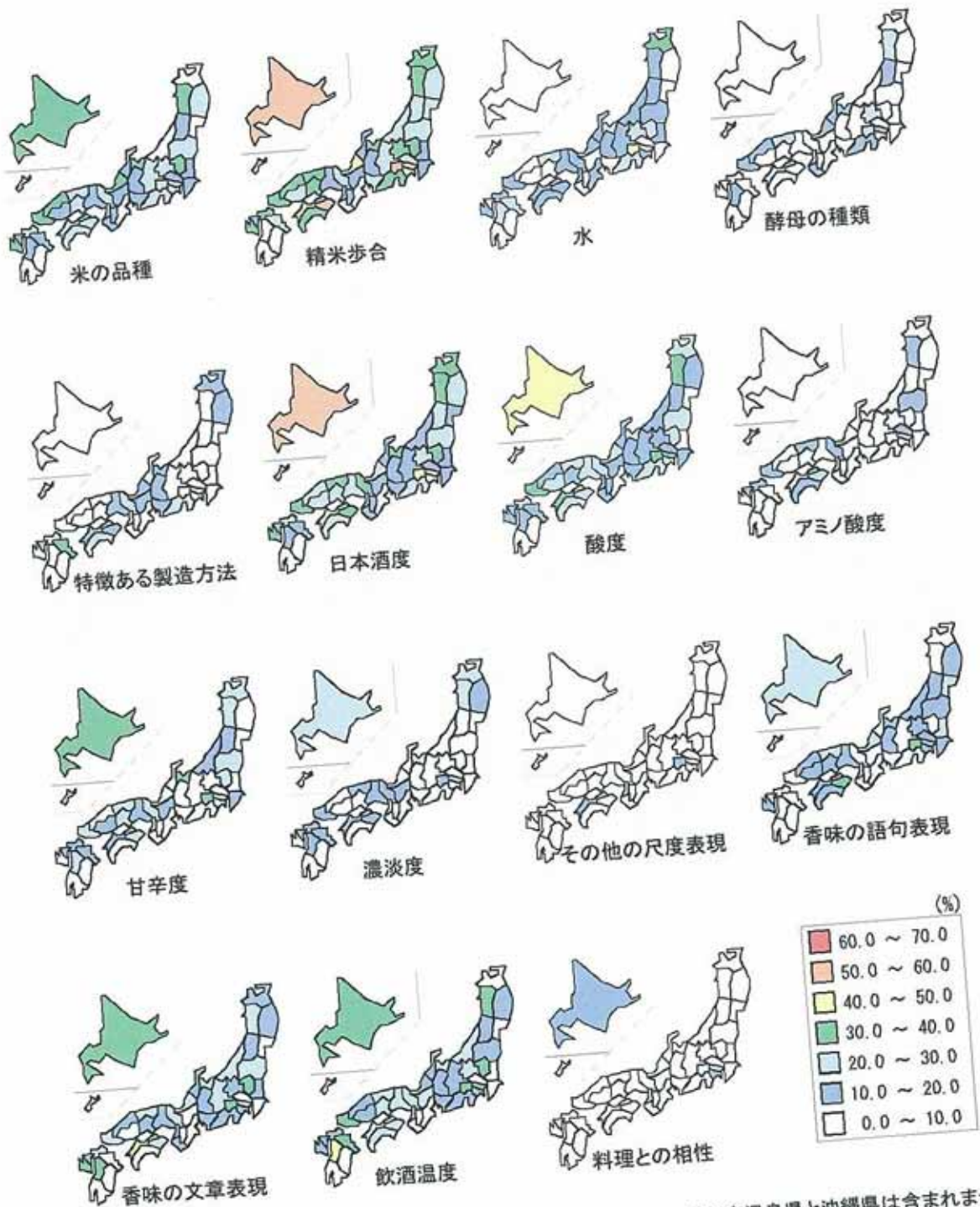
注) 0.5%未満は省略

注) 赤字は、各項目において最も表示割合が高いラベルを示す。

都道府県別にみた情報の表示割合

本醸造酒の情報の表示割合を7段階に色分けして図示

図 III-6 本醸造酒における都道府県別表示割合

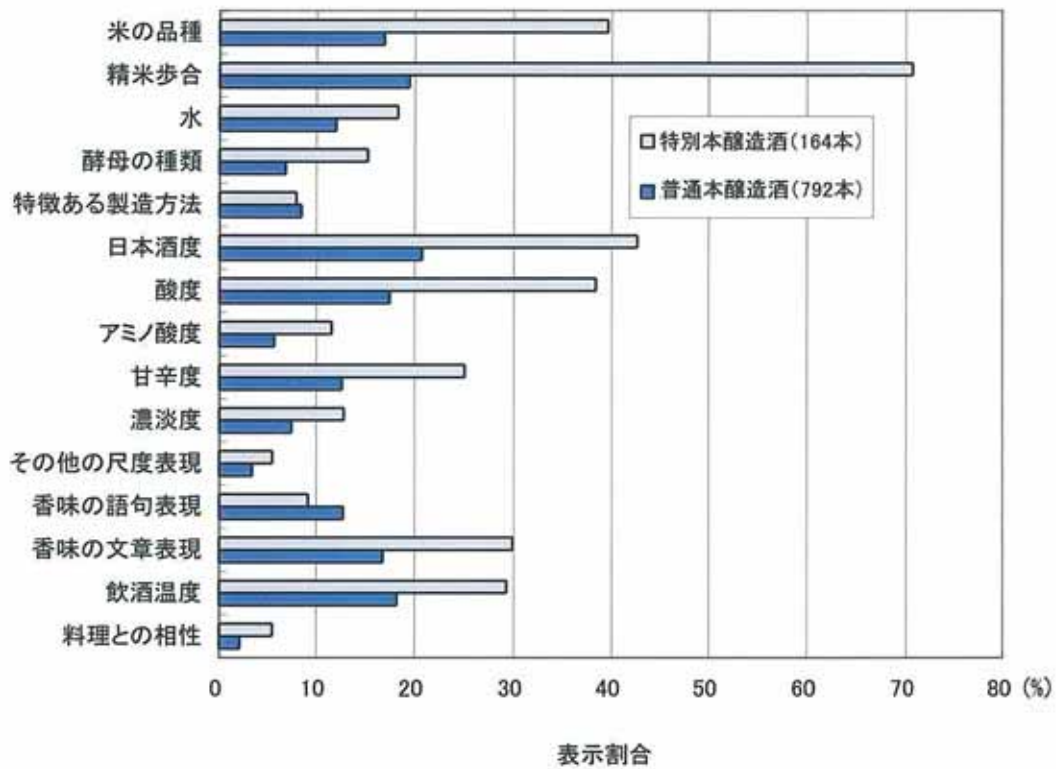


注) 鹿児島県と沖縄県は含まれません。

特別本醸造酒と普通本醸造酒の情報の表示割合の比較

ほぼ全ての項目において、特別本醸造酒の方が普通本醸造酒より表示割合が高い。特に米の品種、精米歩合、日本酒度及び酸度では、その差が大きい。

図 Ⅲ-7 本醸造酒における区分別表示割合

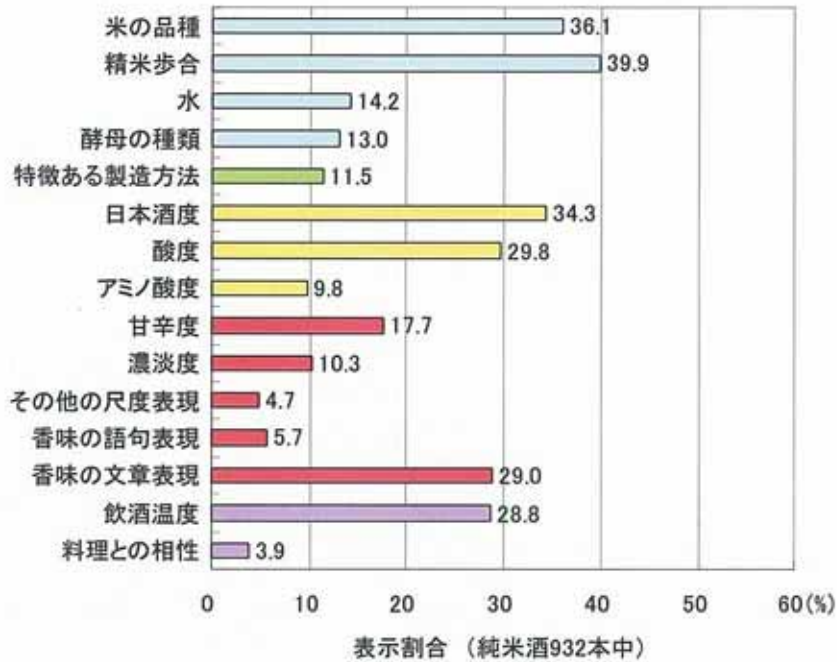


二 純米酒

情報の表示割合

純米酒の情報は、米の品種、精米歩合、日本酒度、酸度、香味の文章表現及び飲酒温度が約30%~40%に表示されている。

図 III-8 純米酒における表示割合



情報の表示位置

情報の多くは主に裏貼に表示されている。

図 III-9 純米酒におけるラベル別表示割合 (純米酒932本中)



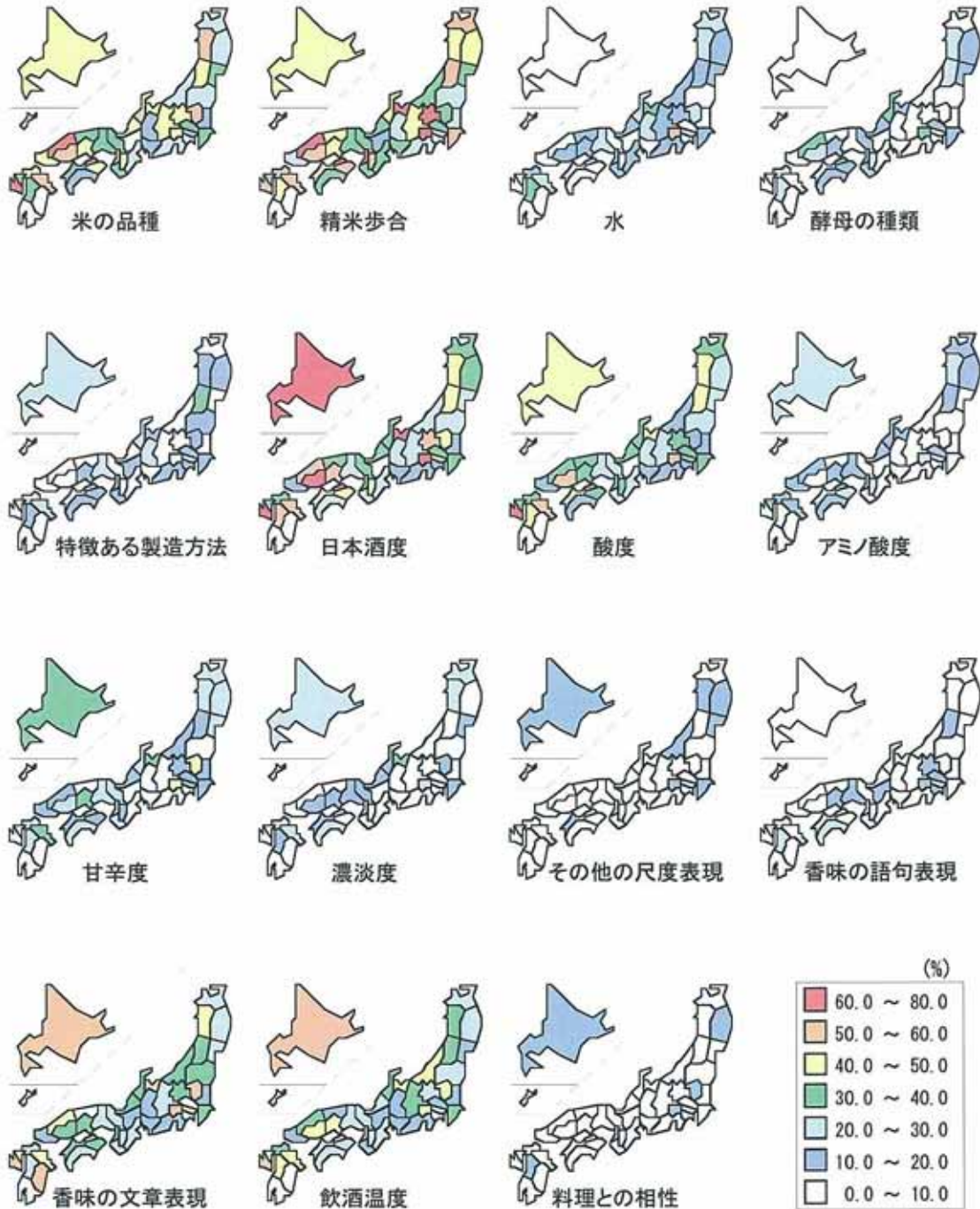
注) 0.5%未満は省略

注) 赤字は、各項目において最も表示割合が高いラベルを示す。

都道府県別にみた情報の表示割合

純米酒の情報の表示割合を7段階に色分けして図示

図 Ⅲ-10 純米酒における都道府県別表示割合

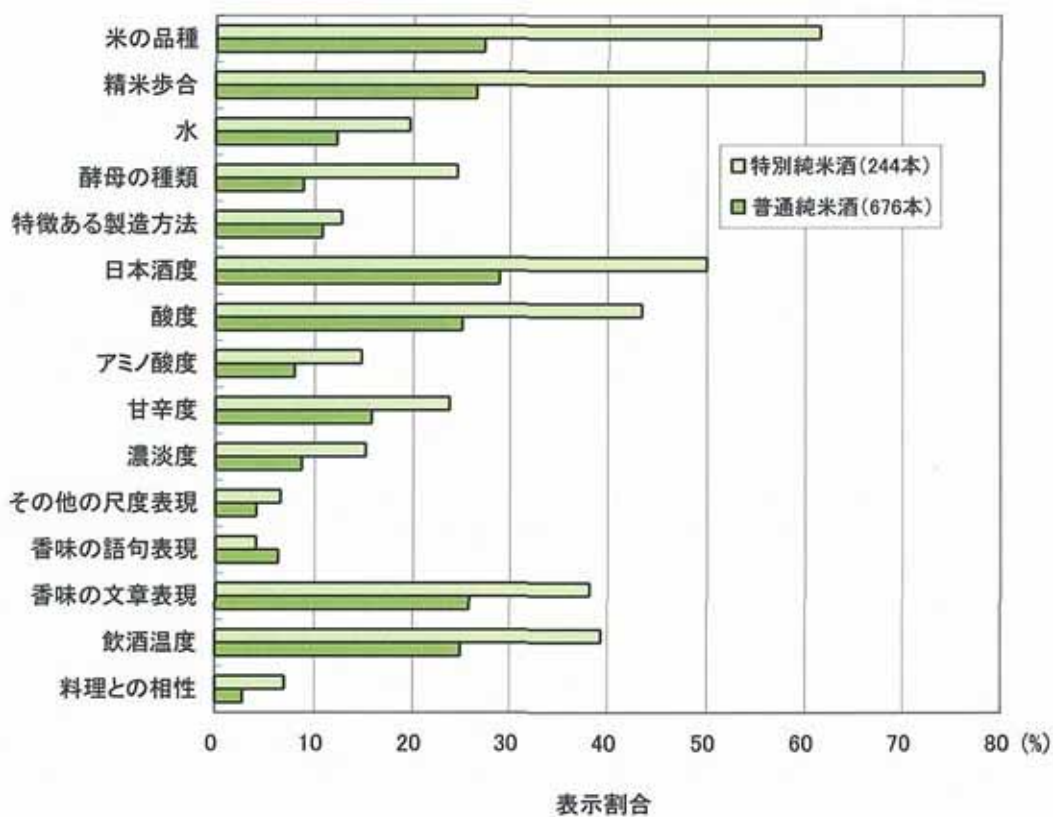


注) 鹿児島県と沖縄県は含まれません。

特別純米酒と普通純米酒の情報の表示割合の比較

ほぼ全ての項目において、特別純米酒の方が普通純米酒より表示割合が高い。特に米の品種、精米歩合、日本酒度及び酸度では、その差が大きい。

図 Ⅲ-11 純米酒における区分別表示割合

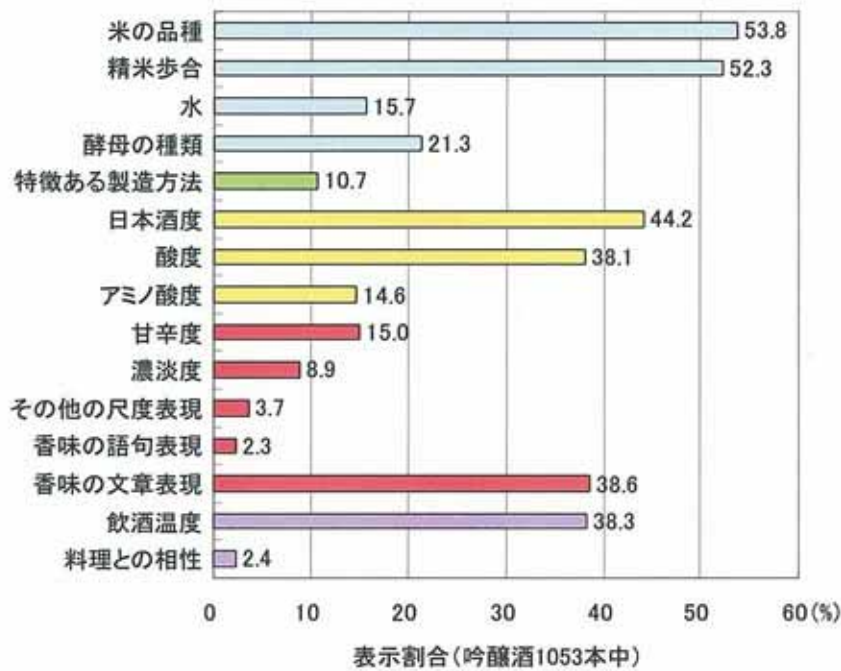


ホ 吟醸酒

情報の表示割合

吟醸酒の情報は、米の品種と精米歩合がいずれも 50%以上とかなり高い割合で表示されている。また、日本酒度、酸度、香味の文章表現及び飲酒温度が 40%前後、酵母の種類が約 20%に表示されている。

図 III-12 吟醸酒における表示割合



情報の表示位置

情報の多くは主に裏貼に表示されている。

図 III-13 吟醸酒におけるラベル別表示割合 (吟醸酒1053本中)



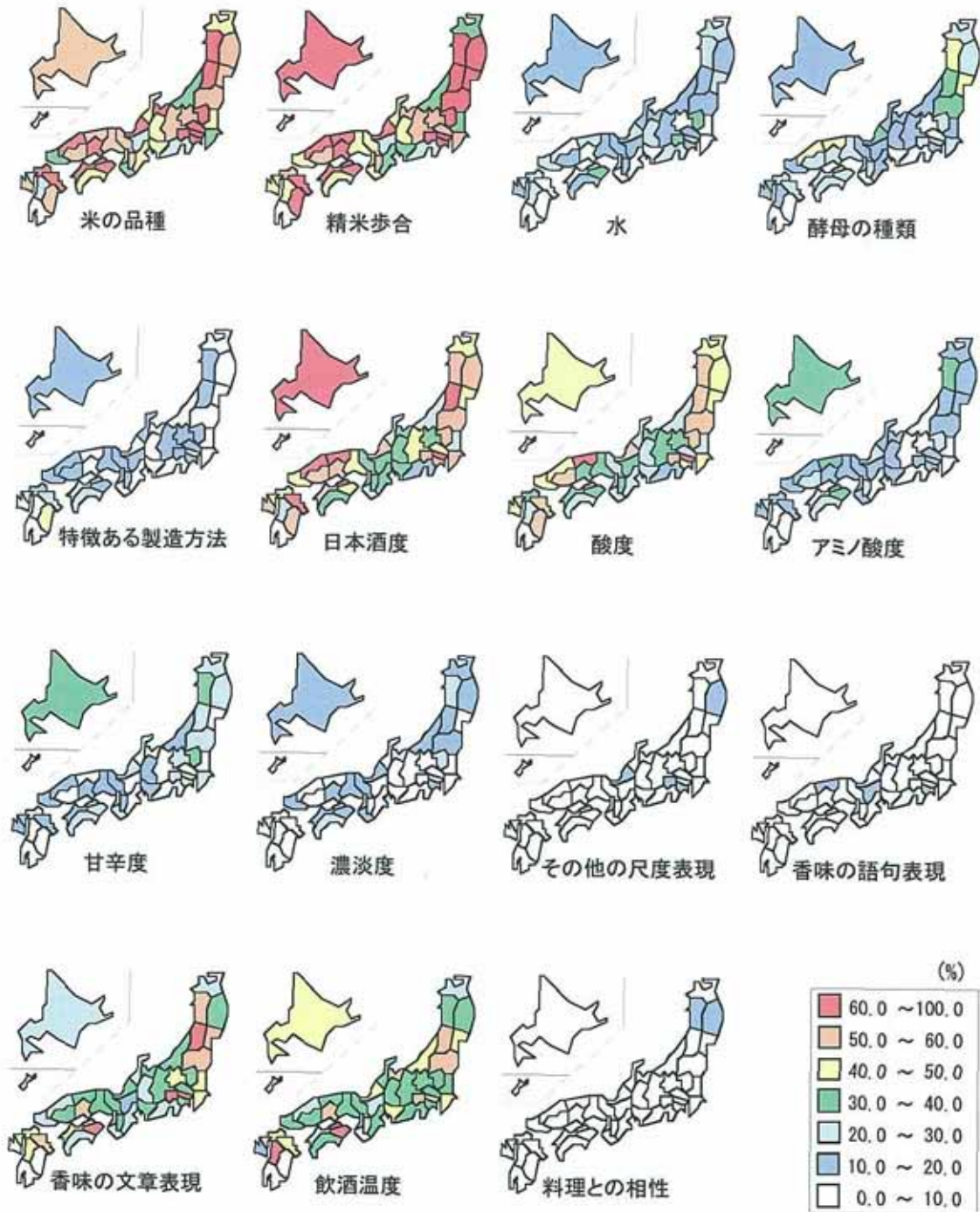
注) 0.5%未満は省略

注) 赤字は、各項目において最も表示割合が高いラベルを示す。

都道府県別にみた情報の表示割合

吟醸酒の情報の表示割合を7段階に色分けして図示

図 Ⅲ-14 吟醸酒における都道府県別表示割合

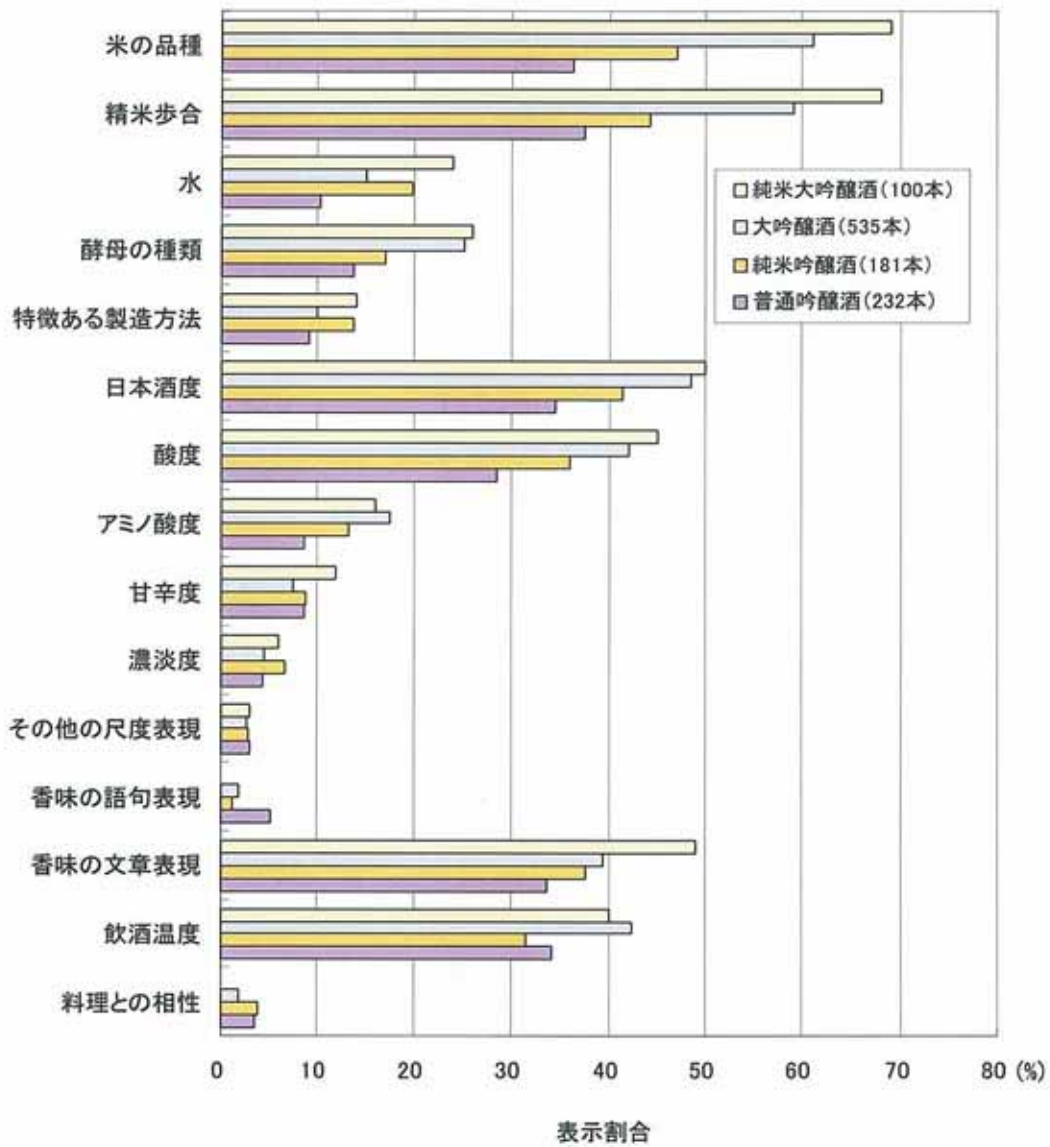


注) 鹿児島県と沖縄県は含まれません。

純米大吟醸酒、大吟醸酒、純米吟醸酒、普通吟醸酒の情報の表示割合の比較

全体的に、純米大吟醸酒、大吟醸酒、純米吟醸酒、普通吟醸酒の順に表示割合が高い傾向にある。特に米の品種と精米歩合において、この傾向が強い。

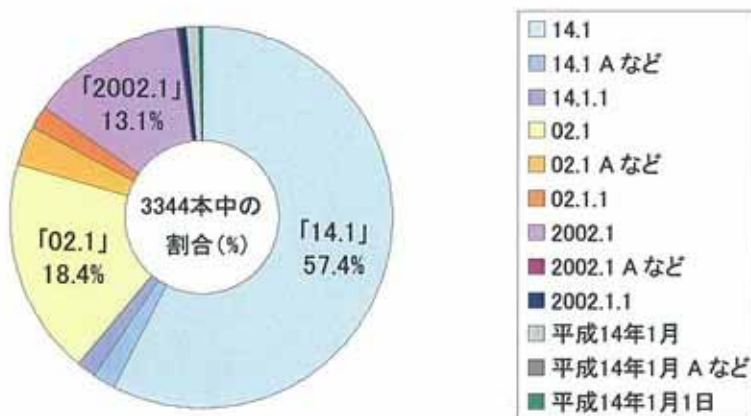
図 III-15 吟醸酒における区分別表示割合



(3) 製造時期の表記

平成 14 年 1 月 1 日に製造した場合の製造時期の表記方法は「14.1」>「02.1」>「2002.1」の順に多い。

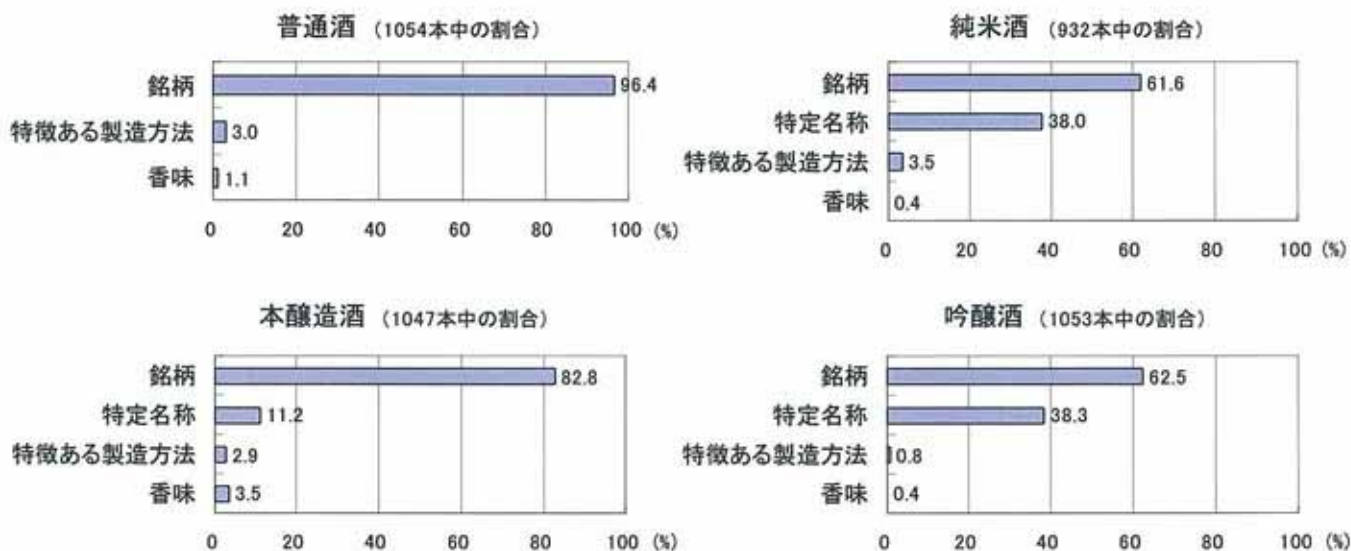
図 III-16 製造時期の表記方法



(4) 胴貼における大書文字(銘柄、特定名称、特徴ある製造方法、香味など)

普通酒と本醸造酒では銘柄を大書したものが多く(各 96.4%、82.8%)。純米酒と吟醸酒では①銘柄を大書したものと②純米や吟醸などの特定名称を大書したもののとの比率が約 3:2 になっている。

図 III-17 胴貼における大書文字



注) 「特定名称」は本醸造、純米、吟醸などを、「特徴ある製造方法」は生、生酛、山田錦などを、「香味」は淡麗、辛口などを集計

本調査に関するお問い合わせ

酒類総合研究所酒類情報室

TEL 03-3910-6237

FAX 03-3910-6236